様式３(2020.08改)

作成日　令和　5年　5月　22日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391500580
事業所名	グループホームかなれ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、回覧板で情報を得ている。資源回収の協力や地域の商店、飲食店などの利用、地域サロンの参加など地域とのつながりを大切にしているが、事業所内でコロナのクラスターが発生したため行事の参加を見合わせている。中学生の職場体験の受け入れや、地域ボランティアの受け入れも中止としている。現況ではお天気のいい日に近隣の散歩や近くの公園まで出かけ近所の方と挨拶を交わしたり、玄関先のベンチに腰掛て日向ぼっこをするなどして地域と繋がりながら暮らしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	今年もコロナ禍により2か月に1回、職員参加による開催としている。入居者家族、自治会長、民生委員、連携病院の相談員、薬剤師、いきいき支援センターの職員に案内と運営状況や活動内容、事故報告やヒヤリハットなどを記載し議事録として報告している。委員からの意見や提案などは協議してサービスや技術の向上に活かすよう努めている。議事録は委員に届け、家族には毎月の請求書に同封している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政とは日頃から電話やメールなどで連絡を取り合っている。行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務、市の助成金などの手続き等で訪問した折に、情報交換をしたり入所事例などで指導や助言を得るなど良好な協力関係を築いている。職員は市主催のズーム研修に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、申し送りノートに記録して職員間で共有しケアに繋げている。家族には電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりして運営に反映させるよう努めている。家族からは、コロナ感染症の状況を確認しながら感染対策をして居室での面会時に様子を伝えたり意見や要望を聞く努力をしている。また、家族に施設の暮らしぶりの写真を送ったり、「かなれ便り」を送付し安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境も整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルス禍において今年も書面での開催としている。昨年度課題であった家族への会議録配布は、毎月の請求書に同封して情報のパイプが途切れないように努めている。また、日々の暮らしの様子を写した写真やコメントを添えた「かなれ便り」を送付し安心を届けている。お天気の良い日には散歩に出掛けたり、屋上での食事会や玄関先のテラスで日向ぼっこをしたり、プランターの花の手入れや水やりなど外気に触れる機会を大切にしたケアに心がけている。感染状況を確認しながら、家族と出掛けドライブをしたり、自宅に帰って家族と過ごしたりして徐々に地域との繋がりや外出なども再開していきつつある。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×	×	○								